

早稲田大学
大学院会計研究科

アクチュアリー専門コース



早稲田大学 会計研究科
Graduate School of Accountancy, Waseda University

目次

- ◆ 会計研究科の概要
- ◆ アクチュアリー専門コースの概要
- ◆ アクチュアリー資格試験
- ◆ アクチュアリー専門コースについて
 - ✓ カリキュラム
 - ✓ アクチュアリー+1(プラスワン)
 - ✓ 入試
- ◆ 奨学金
- ◆ よくある質問

会計研究科の概要

パンフレット
p 3

名称

- ・ 早稲田大学 大学院**会計研究科**
- ・ 専門職学位課程 会計専攻

コース・定員

- ・ 会計専門コース(2年)
- ・ **アクチュアリー専門コース(2年)**
- ・ 高度専門コース(1年)

入学定員100名、
収容定員200名

学位

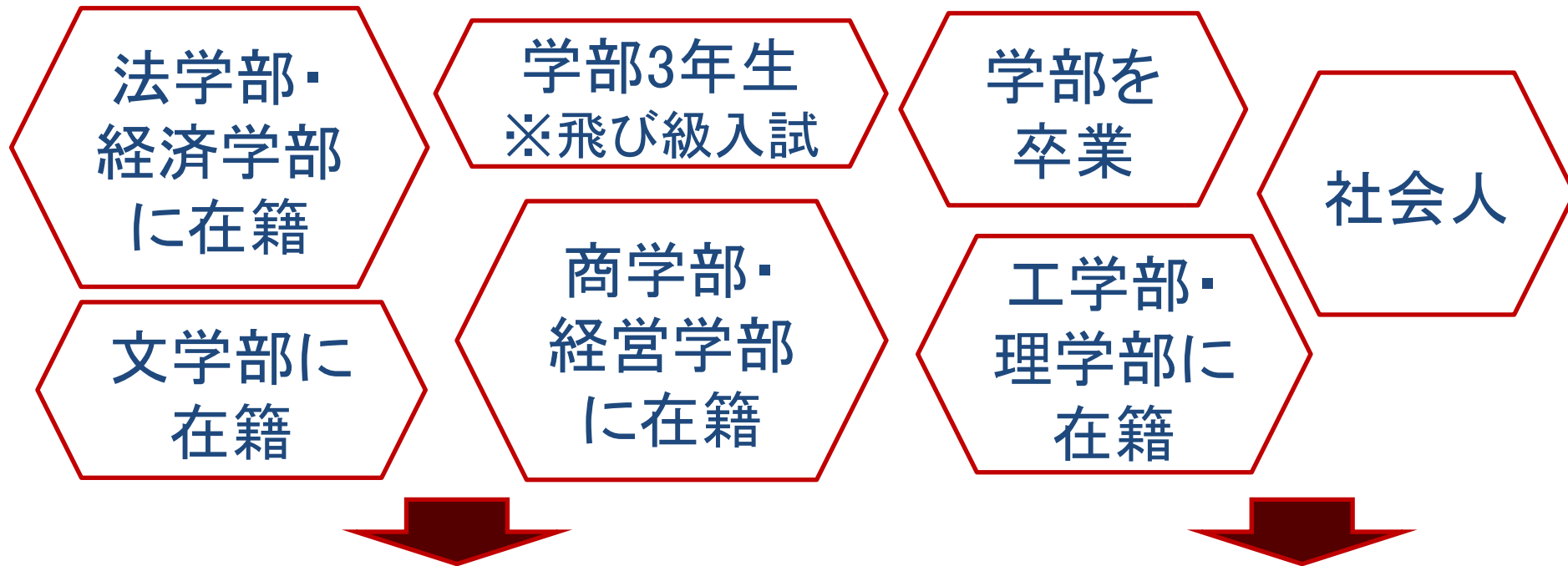
- ・ 会計修士(専門職)
英文名称: Master of Business Administration (MBA)

その他

- ・ 昼間開講方式
- ・ 2005年4月設置
- ・ 常勤教員 15名 (うち実務家教員7名) 2020.4.1現在

パンフレット p22-25

「数理」に強いMBAで広がるキャリア



早稲田大学 大学院会計研究科への進学

- 会計・数理のプロフェッショナルを目指すには最適！
- 2019年度からは、アクチュアリー専門コースも開設

人生100年の時代だからこそ「急がば回れ」

アクチュアリー専門コース

パンフレット
p 12

早稲田大学では、アクチュアリー養成を全学的に推進

- 会計研では、以前から「会計＋1」による取組みを実施
- 会計研にアクチュアリープログラムを設置

2019年4月からアクチュアリー専門コース(2年制)開設

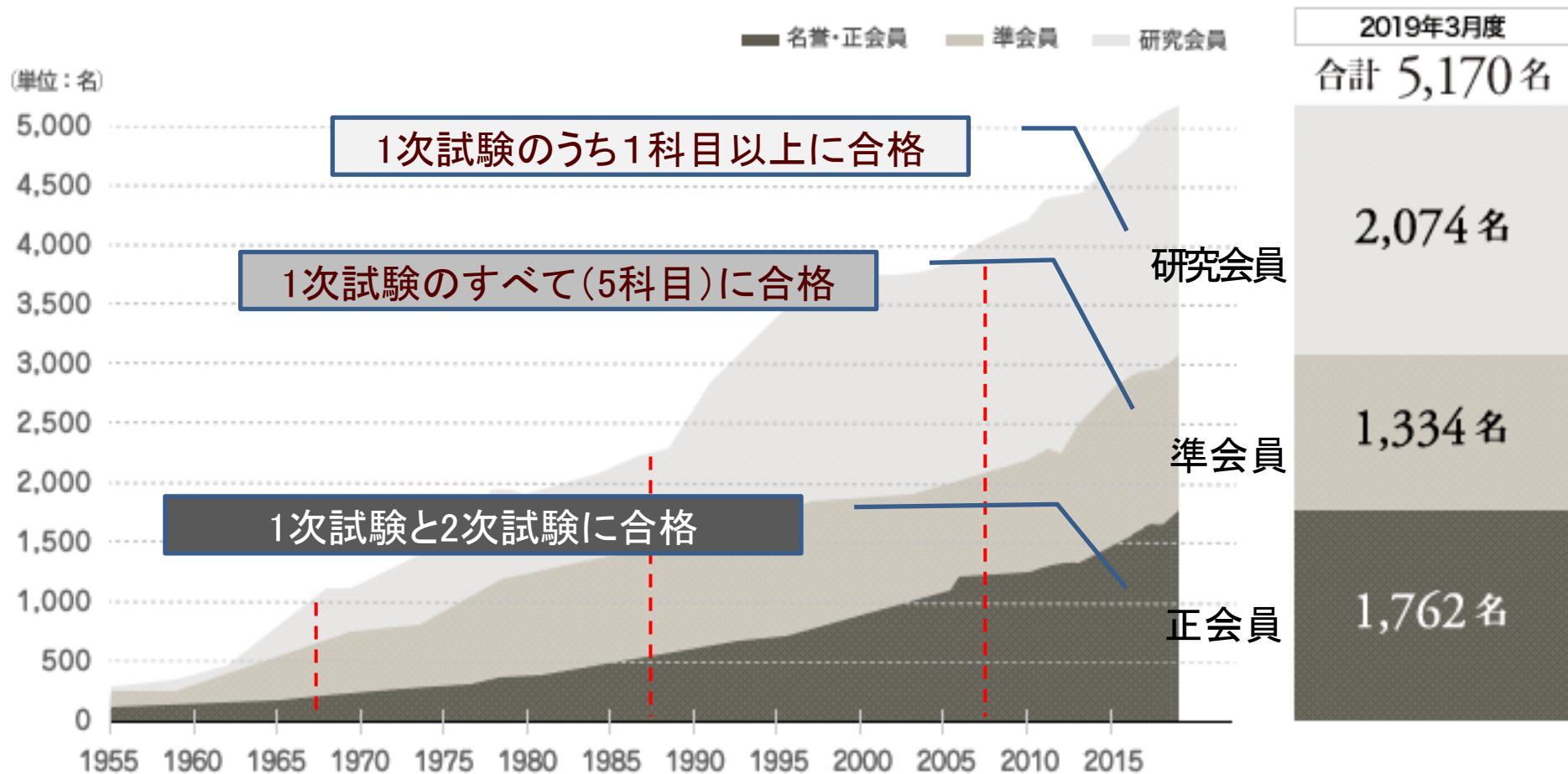
- 異なる入試形態により、理数系が入学しやすく
- アクチュアリー関連科目を増設し、保険数理に強いMBAへ
- 日本アクチュアリー会等と提携し、1次試験5科目合格を目指す

修了要件

- 2年以上在学し、60単位以上を修得
- 基礎必修は2単位(「プロフェッションと倫理」「財務会計リテラシー」)
- Professional Communication系統又はWS科目 3単位以上
- 実務・応用科目 8単位以上

日本アクチュアリー会／会員数

◆ 日本アクチュアリー会の会員数



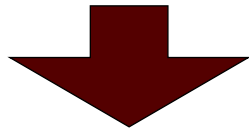
出所：日本アクチュアリー会HP

日本アクチュアリー会／資格試験

◆ アクチュアリー試験の概要

第1次試験 **12月上旬**
(基礎的知識を有するかどうか)

- ・数学
- ・生保数理
- ・損保数理
- ・年金数理
- ・会計・経済・投資理論



日本アクチュアリー会準会員

第2次試験
(専門的知識および問題解決能力を有するかどうか)

- 以下のいずれかのコースの2科目
- ・生保コース
 - ・損保コース
 - ・年金コース

日本アクチュアリー会正会員

プロフェッショナルリズム研修

日本アクチュアリー会／資格試験

第1次試験

基礎科目 5科目

第2次試験を受けるに
相当な基礎的知識を
有するかどうかを判定

数学

【確率】 確率変数、確率分布、確率密度関数、分布関数／変数変換と和の分布／積率母関数、確率母関数、特性関数／中心極限定理 等

【統計】 統計的推定、区間推定／統計的検定／標本分布論と標本調査／最小2乗法と相関係数と回帰係数の推定、検定 等

【モデリング】 回帰分析／時系列解析／確率過程／シミュレーション 等

生保数理

【生保数理の基礎および応用】

利息の計算／生命表および生命関数／脱退残存表／純保険料／責任準備金(純保険料式)／計算基礎の変更／営業保険料／実務上の責任準備金／解約その他諸変更に伴う計算／連合生命に関する生命保険および年金／就業不能(または要介護)に関する諸給付／災害および疾病に関する保険 等

損保数理

【損保数理の基礎および応用】

料率算定の基礎(回帰分析等を含む)、リスクモデル／純保険料と営業保険料の算定方法／信頼性理論／経験料率、クラス料率／支払備金の数理／積立保険の数理／保険料算出原理／危険理論の基礎／再保険の数理／リスク評価の数理 等

年金数理

【年金数理と年金財政の基本】

年金数理の基本原理解／計算基礎率／年金現価率／定常人口論(含む人口モデル)／財政方式／保険料と責任準備金／積立金と過去勤務債務／数理的損益分析 等

会計・経済 ・投資理論

【会計】 財務会計制度／会計理論と会計基準／利益測定と資産評価／現金預金と有価証券／売上高と売上債権／棚卸資産と売上原価／有形固定資産と減価償却／無形固定資産と繰延資産／負債／株主資本と純資産／財務諸表の作成と公開 等

【経済】 ミクロ経済学(需要と供給、消費者行動、費用構造、市場取引と資源配分)／マクロ経済学(乗数メカニズム、貨幣の機能、マクロ経済政策) 等

【投資理論】 ポートフォリオ理論／CAPM／リスクニュートラル・プライシング／デリバティブの評価理論／債券投資分析／株式投資分析／デリバティブ投資分析 等

合格すれば「準会員」

※詳しくは「資格試験要領」を参照

日本アクチュアリー会／資格試験

第2次試験

専門科目 2科目

アクチュアリーとしての実務を行う上で必要な専門的知識および問題解決能力を有するかどうかを判定

生保コース

生保1

生保商品の実務

営業保険料／解約および解約返戻金／アセットシェア／新商品／変額年金保険／団体生命保険／医療保険／再保険／商品毎収益検証

生保2

生保会計・決算

生命保険会計（税制を含む）／契約者配当／事業費の管理・分析／ソルベンシー／内部管理会計／相互会社と株式会社／変額年金保険／医療保険の責任準備金等／ALM

損保コース

損保1

損保商品の実務

損害保険業とは／損害保険料率／保険料の算定／再保険／リスク管理／損害保険業とアクチュアリー／自然災害のリスクモデル／損害率・事業費率の分析／確率論的アプローチによる保険負債の時価評価

損保2

損保会計・決算・資産運用

損害保険業とは／損害保険会計の特色と体系／支払備金／責任準備金／資産運用／損害保険会計と税務／リスク管理／損害保険業とアクチュアリー／損害保険の損益分析／確率論的アプローチによる保険負債の時価評価

年金コース

年金1

公的年金制度・各種退職給付制度の設計と税務

公的年金制度（国民年金・厚生年金保険）の設計／DB制度・DC制度・厚生年金基金制度の設計／退職金制度・中小企業退職金共済制度等／公的年金制度（国民年金・厚生年金保険）及び各種退職給付制度の税務

年金2

公的年金制度・企業年金制度の財政並びに退職給付会計

公的年金制度（国民年金・厚生年金保険）の財政／DB制度・厚生年金基金制度の財政／退職給付会計（国際会計基準を含む）

合格すれば「正会員」

※プロフェッショナルリズム研修の受講も要件

※詳しくは「資格試験要領」を参照

日本アクチュアリー会／資格試験

2018年度・2019年度 資格試験 受験者数・合格率

第1次試験	数学		生保数理		損保数理		年金数理		会計・経済・投資理論	
年度	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
受験者数(人)	1,139	1,136	719	774	652	637	542	442	689	725
合格者数(人)	148	272	92	248	153	103	191	75	97	160
合格率	13.0%	23.9%	12.8%	32.0%	23.5%	16.2%	35.2%	17.0%	14.1%	22.1%

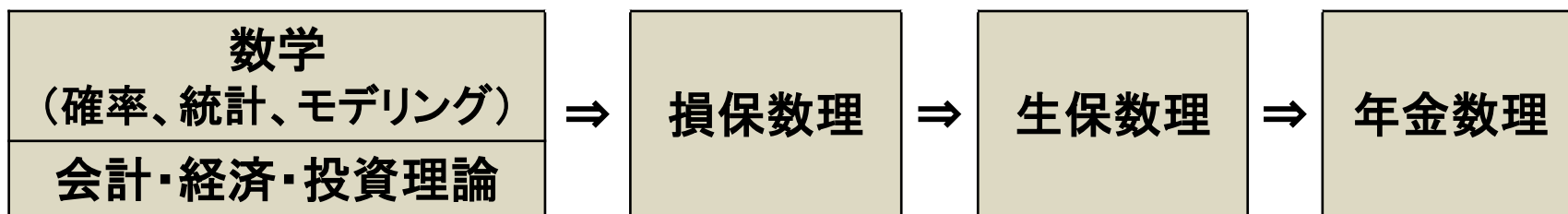
第2次試験	生保1		生保2		損保1		損保2		年金1		年金2	
年度	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
受験者数(人)	360	362	347	353	157	163	131	131	85	82	111	96
合格者数(人)	53	49	47	64	17	20	20	22	12	13	19	13
合格率	14.7%	13.5%	13.5%	18.1%	10.8%	12.3%	15.3%	16.8%	14.1%	15.9%	17.1%	13.5%

出所: 日本アクチュアリー会HP

アクチュアリー専門コース

◆ 在学中にアクチュアリー第1次試験を合格しよう

- 実務経験のない未合格者は、以下の受験の順番がベター



- ✓ 「数学」「会計・経済・投資理論」の出題範囲は大学・大学院で習得できる内容
⇒ 社会人との間で情報・知識格差はなく、学生にとって最も合格しやすい科目
⇒ 理系学部出身者は「数学」から、文系学部出身者は「会計・経済・投資理論」から
- ✓ 数学系の4科目において、保険・年金特有の理論・実務に係る知識を必要とする順番は、「損保数理」<「生保数理」<「年金数理」
- 理系学部出身者は1年生において、「数学」「損保数理」「生保数理」の合格を目指す

アクチュアリー専門コース

パンフレット
p 15

◆ 第1次試験に向けて(2020年度)

学期	春学期		秋学期	
	春クォーター	夏クォーター	秋クォーター	冬クォーター
設置科目	講義科目(各2単位) <ul style="list-style-type: none"> ・アクチュアリー生保数理 ・アクチュアリー損保数理 ・アクチュアリー年金数理 		演習科目(各1単位) <ul style="list-style-type: none"> ・アクチュアリー生保数理演習 ・アクチュアリー損保数理演習 ・アクチュアリー年金数理演習 ・アクチュアリー数学総合演習 ・アクチュアリー会計・投資理論演習 	
	演習科目(1単位) <ul style="list-style-type: none"> ・アクチュアリー統計演習 	演習科目(1単位) <ul style="list-style-type: none"> ・アクチュアリー確率演習 	アクチュアリー第一次試験	

アクチュアリー専門コース

パンフレット
p 24-25

◆ 担当教員 (★日本アクチュアリー会 正会員、●CERA、◆博士号、○公認会計士)

科目名(2020年度)		提携機関・所属	講師
アクチュアリー 生保数理	講義・演習	日本アクチュアリー会 日本アクチュアリー会 日本アクチュアリー会	★ 安達 良喜 ★ 田中 浩一 ★ 浜田 淳一
アクチュアリー 損保数理	講義	会計研究科 客員教授	★ 岩沢 宏和
	演習	PwCあらた監査法人 PwCあらた監査法人	★ 實石 晃洋 ★ 松森至宏
アクチュアリー 年金数理	講義・演習	日本アクチュアリー会 日本アクチュアリー会 日本アクチュアリー会	★● 藤澤 陽介 ★ 関口 健太郎 ★ 荒井 昭
アクチュアリー 確率・統計・数学総合	演習	統計数理研究所 助教	★◆ 野村俊一
アクチュアリー 会計・投資理論	演習	前会計研究科 講師 上智大学 助教	○ 加藤大吾 ◆ 若林利明

アクチュアリー専門コース

パンフレット
p 15

◆ 既設置アクチュアリー関連科目

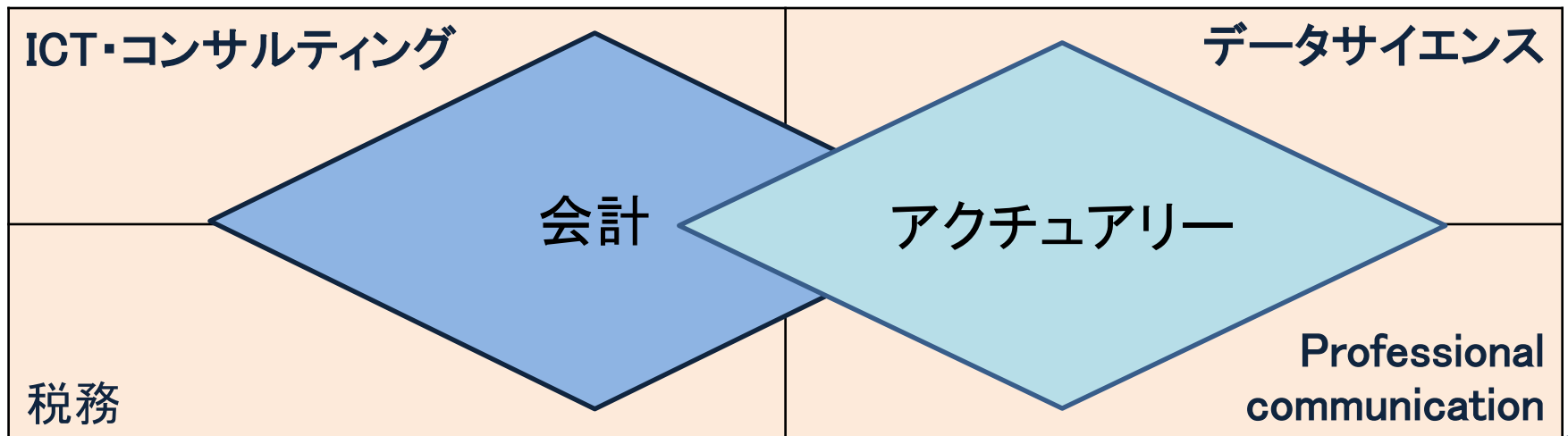
レベル	科目名(2020年度)	備考(主管箇所:科目名)
基礎科目	ビジネス数学 ビジネス確率統計 数理統計基礎など	
コア科目	保険数理概論 生命保険の理論と実務 損害保険の理論と実務 企業年金の理論と実務など	(基幹理工:保険数理) (基幹理工:年金数理概論)
実務・応用 科目	ビジネスデータサイエンス エンタープライズリスクマネジメント(ERM) 予測モデリング論 応用確率モデル理論 時系列解析 現代保険リスク理論 保険数学特論 生保理論 ワークショップ°(WS) アクチュアリー ワークショップ°(WS) など	(基幹理工:同左) (基幹理工:同左) (基幹理工:同左) (基幹理工:同左)

アクチュアリー専門コース

パンフレット
p 9

+1(プラスワン)

- ◆ アクチュアリーとして必要な領域の理論と実務にとどまることなく、自分ならではの「強み」を拓けようとするコンセプトが、「アクチュアリー+1(プラスワン)」
- ◆ プロフェッショナルとして活躍するために、会計研究科のカリキュラムを活用して、自らのバリューを高めよう



アクチュアリー＋１（プラスワン）

パンフレット
p 9

アクチュアリー

会計

- 最新の財務会計・管理会計・監査に関する専門教育・実務教育を提供
- 多くの監査法人による提携講座

ICT・コンサルティング

- 多くのコンサルティング企業と連携した講座
- ERPシステムなどの科目

データサイエンス

- ビジネスの観点から、より広い範囲の課題への対応

Professional Communication

- ネイティブによる講義
- 英語で学ぶワークショップ
- 協定校（米・仏）との留学プログラム



アクチュアリー＋１（プラスワン）

パンフレット
p 10-11

＋会計（財務会計、管理会計、監査等）

試験対応

- ・第1次試験（基礎科目）における「会計・経済・投資理論」に対して
－初学者には、日商簿記講座（3級・2級）の受講機会
- －講義科目として「基礎簿記」「財務会計A」「財務会計B」など
- －演習科目として「アクチュアリー会計・投資理論」

関連する 実務・応用 科目

- ・企業と相対するアクチュアリーとして
－企業価値評価に関連する「企業評価」「財務分析」「株主価値創造とIR」など
- －企業の仕組みに関連する「内部統制の実務と監査」「コーポレートガバナンスと企業リスク管理」など

監査法人 による 提携講座

- ・EY新日本有限責任監査法人[金融機関のガバナンス・リスク管理・コンプライアンス]
- ・有限責任 あずさ監査法人[会計・監査の最新実務]
- ・PwCあらた有限責任監査法人[グローバル会計入門]
- ・太陽有限責任監査法人[IPO実務]

パンフレット p20-21

＋ICT・コンサルティング

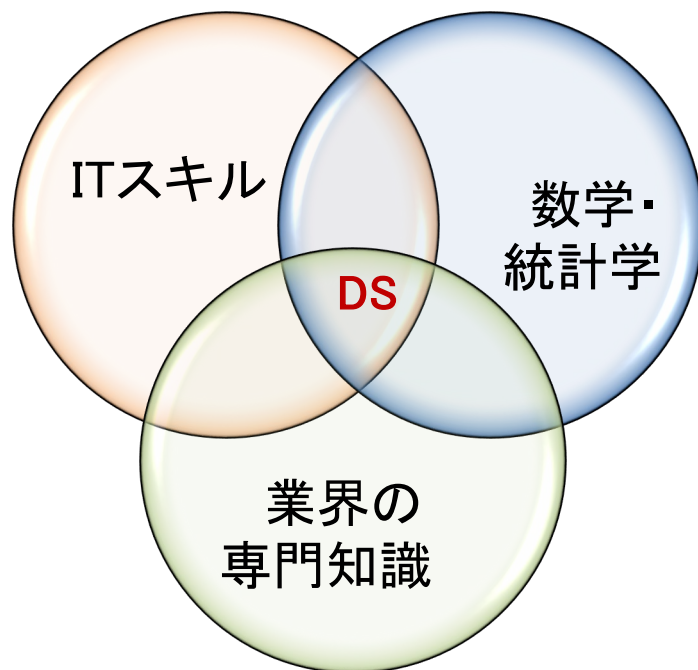
ERPシステム などの科目

- 大企業のプロセスは、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」をERPシステムによって統合的に管理
- SAP® ERPシステムをPC教室に導入

コンサルティング 企業との 連携講座 (提携講座)

- EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング
[コーポレートガバナンスと企業リスク管理]
- デロイト トーマツ コンサルティング
[CRM実務] [CFO組織の未来像]
- ジャパン・ビジネス・アシュアランス
[経理部門における内部統制]
- KPMG FAS
[事業再生実務]

+データサイエンス



米国のデータサイエンティストであるDrew Conwayによるデータサイエンス(DS)のための3つのスキル

- アクチュアリーは、確率統計を含む保険数理の知識があり、保険分野の理解があるため、3つのうち2つのスキルを持つ
- データサイエンスは、データから価値を引き出すための手法
→過去のデータからアルゴリズムを構築し、新しいデータによる将来予測と意思決定

豊泉教授「ビジネスデータサイエンス」「応用確率モデル理論」

岩沢客員教授「予測モデリング論」「リスクデータサイエンスワークショップ」など

＋Professional Communication

ネイティブ
による講義

- Business Communication, Professional Presentations, International Negotiation, Corporate Governanceなど（一部で入門-発展のレベルごとの科目あり）

国際関連業務の
実務・応用科目

- 国際会計基準(IFRS)、国際交流会計ワークショップ、Financial Accounting Workshop、事業戦略管理会計ワークショップ、国際税務、Corporate Tax Law Workshopなど

協定校との
留学プログラム

- エセック経済商科大学院大学(ESSEC Business School)
- ハワイ大学マノア校(University of Hawai'i at Manoa)
- ジャクソンビル大学(Jacksonville University)

アクチュアリー＋１（プラスワン）

パンフレット
p18

＋ Professional Communication

プログラム名	留学先	留学時期	応募資格	応募締切
三澤本庄 国際奨学金付 留学プログラム	University of Hawai'i, Shidler College of Business（アメリカ）	2年次の 5月～7月 または8月	日本国籍を有する者 TOEFL® iBT79以上	1年次の 11月頃
ESSEC 交換留学 プログラム	ESSEC Business School（フランス） （授業は基本的に英語）	2年次の 9月～12月	TOEFL® iBT79以上	1年次の 1月頃
ESSEC Summer Module		2年次の 6月～7月 （3週間）		
Jacksonville 交換留学 プログラム	Davis College of Business, Jacksonville University （アメリカ・フロリダ州）	2年次の 8月～12月	TOEFL® iBT61以上 またはTOEIC IP620	1年次の 1月頃

(*) いずれも奨学金制度あり

入試概要－アクチュアリー専門コース

※詳細はHP・入試要項をご覧ください <https://www.waseda.jp/fcom/gsa/applicants/admission>

特別な実務経験なし



大学4年生又は大学卒で、数学、統計学、数理経済学等を十分に学習した

アクチュアリー専門コース

2-A: 一般入試(一次)12月、(二次)1月



大学3年生で、数学、統計学、数理経済学等を十分に学習した

2-F: 飛び級入試 10月・1月



早稲田大学各学部を卒業見込である

学内推薦基準を満たす

2-C: 学内推薦入試 7月・10月・1月

数学等を十分に学習した

2-D: 学内AO入試 7月・10月

成績基準等を満たす

2-E: 学内5年一貫修了制度入試 7月・10月

実務経験あり



国家資格または実務経験がある

実務に必要な最新の知識を学び直したい

2-G: 社会人経験重視入試 10月・1月

保険数理関連領域の研究論文を執筆したい

3-A: 高度専門コース一般入試 10月・1月



企業等の大学院派遣制度を利用して学びたい

2-B: 企業等派遣入試 12月・1月
3-B: 高度専門コース企業等派遣入試 12月・1月

1科目から最先端の領域の知識やスキルを学びたい

一般科目等履修生入試 7月・1月

入試概要-アクチュアリー専門コース

入試形態	入試時期				出願資格の概要
	7月	10月	12月	1月	
2-A:一般入試			○		
2-B:企業等派遣入試			○	○	上場企業・官公庁等からの派遣
2-C:学内推薦入試	○	○		○	(次頁参照)
2-D:学内AO入試	○	○			早稲田大学を卒業見込
2-E:学内5年一貫修了制度入試(*)	○	○			早稲田大学を卒業見込で、成績基準等を満たす(p23参照)
2-F:飛び級入試		○		○	(p24参照)
2-G:社会人経験重視入試		○		○	実務経験7年以上、又は、
					保険数理・年金数理・財務経理等の実務経験3年以上 + アクチュアリー1次試験1科目以上

(*)以下によって当研究科を早期修了することを認める制度

- ・当研究科が学部生に開放する科目(先取科目)を20単位以上修得
- ・当研究科1年次において修得した単位と合わせて60単位以上を修得

入試概要-アクチュアリー専門コース

2-C:アクチュアリー専門コース 学内推薦入試(7月、10月、1月)

2020年度中に早稲田大学各学部を卒業または卒業見込で、かつ、以下(1)または(2)を満たすもの

(1)次のAおよびBの条件を満たしていること

A: GPAが2.2以上

B: 以下の①または②のいずれかを満たしていること

① 公益社団法人日本アクチュアリー会のアクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に1科目以上合格、又はそれと同等と認められること

② 数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目につき、20単位以上が「A」以上

(2) GPAが2.7以上

入試概要-アクチュアリー専門コース

2-E: アクチュアリー専門コース 学内5年一貫修了制度入試(7月、10月)

【概要】以下によって当研究科を早期修了することを認める制度

- 学部4年生以上に在籍中に当研究科が学部生に開放する科目(先取科目)を**20単位以上**修得
- 当研究科1年次において修得した単位と合わせて60単位以上を修得

【出願資格】2020年度中に早稲田大学各学部を卒業または卒業見込で、かつ、以下(1)から(3)を満たすもの

- (1)早稲田大学各学部に3年以上在学し、かつ、出願時において**110単位以上**を修得し、提出する成績証明書(和文)に記載されている「A」以上の評価を得た科目の総単位数が**70単位以上**である者
- (2)学部における数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目につき、**24単位以上**が「A」以上の成績である者
- (3)「先取科目」を学部4年生以上に在籍中に**20単位以上**修得

入試概要-アクチュアリー専門コース

2-F:アクチュアリー専門コース 飛び級入試(10月、1月)

次の(1)および(2)の両方を満たしていること

- (1)出願時において4年制大学の3年次に在学中であり、**75 単位以上**を修得し、提出する成績証明書(和文)に記載されている「A」以上(「優」以上または「80 点」以上でも可)の評価を得た科目の総単位数が **50 単位以上**である者
 - (2)学部における数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目につき、**20 単位以上**が「A」以上(「優」以上または「80 点」以上でも可)の成績である者
- (*) 大学等に在学中のまま入学することは、二重学籍となるためできません。
入学までに大学等を退学していただく必要があります。

奨学金

パンフレット
p 30-31

学内奨学金(給付)

奨学金名	奨学金額(単年給付)	2019年度割当数
大隈記念奨学金	年額 400,000円	2名
小野梓記念奨学金	年額 400,000円	4名
校友会給付一般奨学金	年額 400,000円	1名

会計研 海外留学支援のための奨学金(給付)

対象者	奨学金額	割当数
留学センター 派遣留学プログラム	プログラムによる	若干名
留学センター 春季・夏季短期留学プログラム	プログラムによる	5名程度
ESSEC 交換留学プログラム 参加者	300,000円	2名程度
ESSEC Summer Module 参加者	150,000円	2名程度
Jacksonville 交換留学プログラム 参加者	300,000円	2名程度

奨学金

パンフレット
p 31

入学前予約採用給付奨学金

奨学金の採用結果は入試の合格発表と共に通知し、奨学金は入学後に支給(入学時に1回)

入試形態	選考基準	奨学金額
2-A: 一般入試	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に3科目以上合格している者	100万円
	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に2科目以上合格している者	40万円
2-C: 学内推薦入試 2-D: 学内AO入試 2-F: 飛び級入試	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に3科目以上合格している者	100万円
	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に2科目以上合格している者	40万円
	入試成績が優秀であり、かつ数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目50単位以上が「A」以上の成績である者	40万円

日本学生支援機構奨学金(貸与)

奨学金名	奨学金額(月額)
第一種(無利子)	50,000円 88,000円 から選択
第二種(有利子)	50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円 から選択
(*) 日本学生支援機構 第一種 「特に優れた業績による返還免除制度」 全額免除(2,112,000円) 採用者の10% 半額免除(1,056,000円) 採用者の20% ※免除額は月額88,000円の奨学生を想定	

よくある質問(FAQ)

Q1:入試の詳細(出願資格、出願期間、試験日など)は、何をみればよいでしょうか。

⇒黄色の冊子「2021年度 入学試験要項」をご覧ください。

Q2:「2-A:アクチュアリー専門コース 一般入試」の筆記試験(12月実施)のためには、どのような学習をすればよいでしょうか？

⇒12月上旬のアクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)の数学(確率論、統計学)を目指した学習の延長上にあると考えればよいと思います。むしろ、その先を目指してください。

Q3:「2-C:学内推薦入試」と「2-D:学内AO入試」は、どのように異なるのでしょうか。

⇒いずれも、早稲田大学各学部の4年生で卒業見込の方を対象としていますが、「2-C:学内推薦入試」では、出願資格として成績条件等を満たす必要があり、また、早稲田大学の専任教員作成の所定の推薦書が必要です。出願資格を満たしているのであれば、「2-C:学内推薦入試」による出願をお勧めいたします。

よくある質問(FAQ)

Q4:「2-F:アクチュアリー専門コース 飛び級入試」(10月実施、1月実施)は、早稲田大学以外の在学生でも受験できますか。

⇒はい、できます。

Q5:「アクチュアリー専門コース」で入学した場合も、修了後に、公認会計士試験短答式の3科目免除を受けることができますか？

⇒所定の会計科目の単位を修得すれば、免除を受けることができます。

Q6:「会計専門コース」で入学した場合も、アクチュアリー関連科目を受講できますか？

⇒所定の会計科目の単位を修得すれば、免除を受けることができます。

Q7:社会人経験者の方は、どのぐらいいますか。

⇒3割ぐらいです。ただし、フルタイムの勤務をしながらの学位取得は難しいといえます。